

広報



発行 大子町役場 総務課

〒319-3526 久慈郡大子町大字大子866番地

Tel.0295-72-1111(代) 0295-72-1114(直通) Fax.0295-72-1167

<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/>

E-mail soumu01@town.daigo.lg.jp

だいご

No.620



大子町文化福祉会館「まいん」完成

主 な 内 容

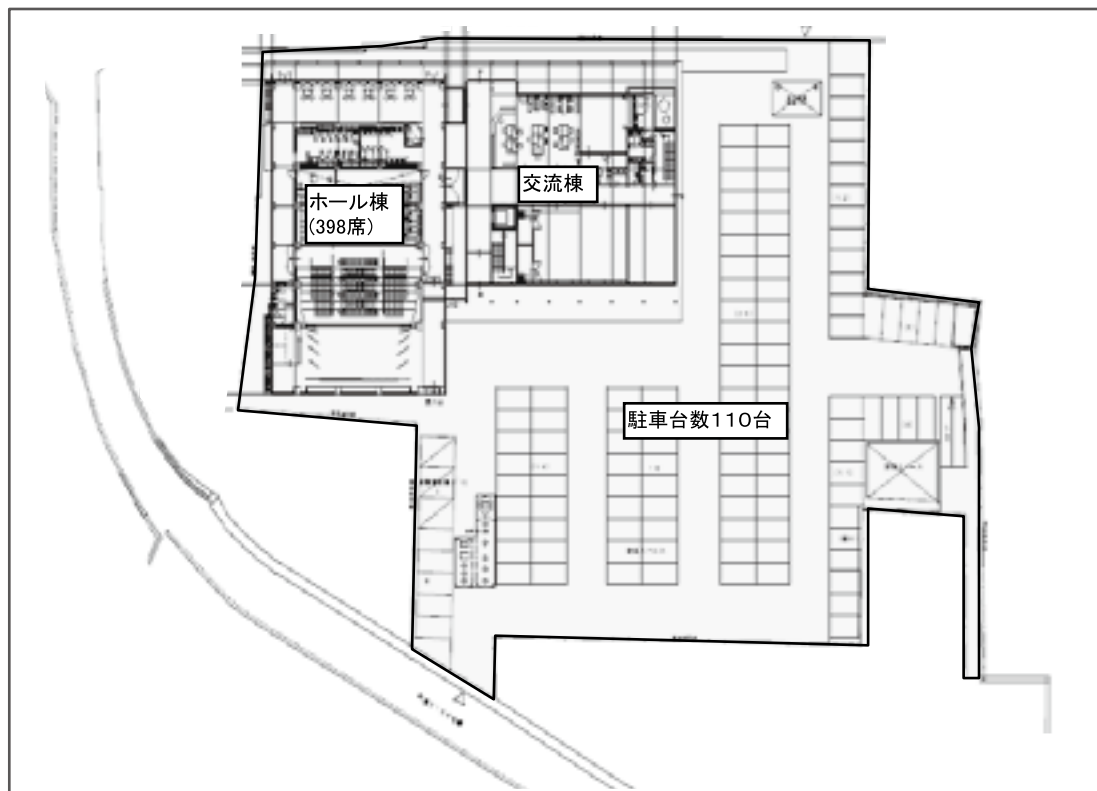
- ❖ 大子町文化福祉会館「まいん」完成 …2
- ❖ 子育て支援関係事業 ……4
- ❖ ニュースだいご ……8

- ❖ 国民年金 ……9
- ❖ 国保情報えがお ……10
- ❖ フォトだいご ……12

2010

4

大子町文化福祉会館「まいん」が完成



平成20年度・平成21年度の2か年計画で、中心市街地の機能再生と交流拠点づくりを図るため、まちづくり交付金事業で大子駅前町の町有地（ＪＴ跡地）に建設を進めてきた、「大子町文化福祉会館」が完成しました。

文化福祉会館は、文化・福祉・教育・観光の拠点となる複合施設で、世代間の交流と新しい文化を創造し発信する場として、講演会や音楽発表会、さらには子育て支援や高齢者対策などの多面的な機能を備えています。

ぜひ、町民の皆さんもご利用ください。

《施設概要》

- 住 所 大子町大字大子722-1
- 敷地面積 6,027.73㎡
- 駐車台数 110台（うち身障者専用3台）

ホール棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
文化ホール、観光展示コーナー、ギャラリー

交 流 棟 木造2階建

- 1階 社会福祉協議会事務室、高齢者活動室、観光協会事務室、観光交流ホール
- 2階 第1子育て支援室、第2子育て支援室、第3子育て支援室、学習室、小会議室兼学習室

《事業費》H22.2 現在

項 目	金額（千円）
委 託 費	33,635
工 事 費	819,305
用地・補償費	33,017
合 計	885,957





ホール棟



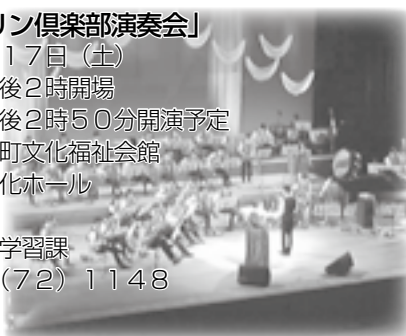
交流棟



《開館記念事業》

「明治大学マンドリン倶楽部演奏会」

- 日 時 4月17日(土)
午後2時開場
午後2時50分開演予定
- 場 所 大子町文化福祉会館
文化ホール
- 入場料 無料
- 問合せ 生涯学習課
☎(72) 1148



《オープニングセレモニー》

- ◆日 時 4月16日(金) 午前10時～
- ◆場 所 大子町文化福祉会館「まいん」 文化ホール
- ◆内 容
 - ・テープカット
 - ・記念演奏(大子清流高校吹奏楽部)
 - ・愛称表彰
 - ・記念式典
 - ・ミニライブ(宗次郎によるオカリナ)
 - ・内覧会

子育て支援関係事業が始まります

大子町では、4月から大子町文化福祉会館「まいん」において、次の子育て支援関係事業を実施します。町民の皆さんの積極的なご利用をお待ちしています。

大子町文化福祉会館「まいん」

《大子町子育て支援センター》

子育て親子の交流を促進し、地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感、不安感を解消するため、相談や援助等を行います。

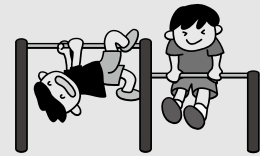
- ◆開始日 4月19日（月）
- ◆開設日 日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く毎日
- ◆利用時間 午前9時～午後5時
- ◆主な事業内容
 - ①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
 - ②子育て等に関する相談、援助
 - ③地域の子育て関連情報の提供
 - ④子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施 ほか
- ◆利用料 無 料



《大子町放課後児童クラブ事業》

昼間保護者のいない家庭の小学校低学年の児童（1年生から3年生）に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供します。

- ◆開始日 4月7日（水）
- ◆開設日 日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く毎日
- ◆利用時間
 - 平日：下校時～午後6時
 - 土曜日及び長期休業日：午前8時～午後6時
- ◆利用料 無 料（ただし、おやつ代等の実費は保護者負担となります。）
- ◆利用条件
 - ・「就労証明書」添付等の基準があります。
 - ・だいが小学校学区内児童を対象とします。
- ◆その他 放課後児童クラブの利用児童の募集については、小学校、幼稚園及び保育所を通じて要項を配布してあります。



依上農村環境改善センター

《大子町放課後児童あずかり事業》

昼間保護者のいない家庭の小学校の児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供します。

- ◆開始日 4月7日（水）
- ◆開設場所 依上農村環境改善センター
- ◆開設日 月曜日～金曜日（ただし、学校が休みの時は除く。）
- ◆利用時間 下校時～午後6時
- ◆利用料 無 料（ただし、おやつ代等の実費は保護者負担となります。）
- ◆利用条件
 - ・「就労証明書」添付等の基準があります。
 - ・依上小学校学区内児童を対象とします。
- ◆その他 放課後児童あずかり事業の利用児童の募集については、小学校、幼稚園及び保育所を通じて要項を配布してあります。

《障害児日中一時支援事業》

養護学校等に通う障害児に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、家族の就労支援と障害児を日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ります。

- ◆開始日 4月19日(月)
- ◆利用日 日曜日、祝日、12月29日から1月3日までを除く毎日
- ◆利用時間 平日：午後2時～午後6時
土曜日及び長期休業日：午前8時～午後6時
- ◆利用料 無料



《障害児ふれあい広場事業》

就学前の在宅の障害児と保護者が集える場を設け、集団活動を通して子どもの心身の発育を助長するとともに、保護者の子育てを支援します。

- ◆開始日 4月19日(月)
- ◆開設日 月曜日～金曜日
- ◆利用時間 午前9時～正午
- ◆主な事業内容
 - ①自由交歓の場の提供
 - ②交流会の実施、レクリエーションの開催
 - ③療育に関する相談、指導
 - ④集団生活への適応訓練
 - ⑤保護者への情報提供 ほか
- ◆利用料 無料



《学習室の利用について》

学習室は、誰でも自由に読書活動や学習活動に利用することができます。積極的にご利用ください。

特に、児童・生徒の皆さんは、放課後や休日に学習・交流の場としてご活用ください。

- ◆開始日 4月7日(水)
- ◆利用日 12月29日から1月3日までを除く毎日
- ◆利用時間 午前9時～午後6時(7月～9月は午後8時まで)
- ◆利用料 無料



■福祉課社会福祉グループ ☎(72)1117

「放課後子ども教室」を継続します

町教育委員会では、引き続き放課後子ども教室(週2回・長期休業中を除く。)を開設します。放課後子ども教室は、放課後等に小学校等の施設を活用して、地域住民の参画を得て、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるものです。

参加者の募集については、開設校を通してお知らせします。

現在、開設していない小学校においても開設を検討しています。



■生涯学習課生涯学習グループ ☎(72)1148

読み聞かせ講習会を開催 (大子西中学校)



大子西中学校の図書室には絵本のコーナーがあり、さまざまな種類の絵本を取り揃えています。

本校では、2年前は西保育所で、昨年度は西保育所、依上小、大子まつり会場で読み聞かせを行うなど、読み聞かせ活動に力を入れてきました。今年度は新型インフルエンザなどの影響もあり、外部での読み聞かせ活動はできませんでしたが、1・2年生を対象とした校内での「読み聞かせ講習会」を開催しています。講習会では、まず、読み聞かせ活動の流れや絵本を選ぶときのポイント、読み方のコツなどを学びました。現在は、小グループごとに手遊び歌を練習したり、絵本を読み合ったりしながら、お互いに意見を出し合い、より良い読み聞かせができるよう練習に励んでいます。中には紙芝居や英語の絵本、仕掛け絵本に挑戦したり、振り付けを加えたりするグループも出てきました。

来年度は、また外部での読み聞かせ活動を行い、この講習の成果を発揮したいと思います。



「読む・調べる」習慣の
確立に向けて



■大子町児童生徒読書活動推進委員会 学校教育課内 ☎(79)0170



なる い しげ み
成 井 重 美さん
(上岡)

総務省の「頑張る地方応援プログラム」により、平成20年4月7日に副町長に就任し、平成22年3月31日をもって退職し総務省に復帰する田中雄章副町長の後任として成井重美さんを任命することになりました。

成井さんは、県職員として農林水産部次長や農業総合センター長などを歴任し、手腕力量とも優れた方で、任期は平成22年4月1日から4年間です。



こ ばやし ひで じ
小 林 秀 次さん
(頃藤)

町議会議員のうちから選任される監査委員を、平成22年3月11日をもって二身上の都合により退職する藤田健さんの後任として小林秀次さんを選任することになりました。

小林さんは、昭和55年3月から大子町議会議員に就任し現在8期目となり、行政運営や財務管理など識見を有した方で、平成22年4月1日から就任します。



つ づ つも
都 筑 積さん
(浅川出身)

平成22年3月30日をもって任期満了となる教育委員会委員の石井邦朋さんの後任として都筑積さんを任命することになりました。

都筑さんは、県の教育事務所長や小学校校長などを歴任し、教育、学術及び文化についての識見を有した方で、任期は平成22年4月1日から4年間です。

大子町教育委員会委員

4月1日から就任

分館(公民館)がコミュニティセンターに変わります

4月1日から、分館が新たに地域住民と行政との協働のまちづくりの基盤となる地域コミュニティを構築するための拠点施設「コミュニティセンター」に変わります。

今後、コミュニティセンターでは、地域住民や関係団体等と連携・協力し、福祉、防犯、防災、交通安全、環境整備、ふれあい活動などのコミュニティ活動を積極的に支援していきます。

移行前		移行後
大子町立中央公民館依上分館 (大子町農村環境改善センター)		依上農村環境改善センター(所管:農林課)
大子町立中央公民館佐原分館 (佐原ふれあいセンター)		佐原ふれあいセンター(所管:福祉課)
大子町立中央公民館黒沢分館 (大子町黒沢女性・若者等活動促進施設)		黒沢女性・若者等活動促進センター(所管:農林課)
大子町立中央公民館宮川分館 (大子町自然休養村管理センター)		宮川自然休養村センター(所管:農林課)
大子町立中央公民館生瀬分館		生瀬コミュニティセンター(所管:生涯学習課)
大子町立中央公民館袋田分館		袋田コミュニティセンター(所管:生涯学習課)
大子町立中央公民館上小川分館		上小川コミュニティセンター(所管:生涯学習課)
大子町立中央公民館下小川分館		下小川コミュニティセンター(所管:生涯学習課)

※ 施設の管理は、それぞれの所管課になります。また、施設の所在地及び電話番号は、変更ありません。

■生涯学習課 ☎(72)1148

● 4月1日から権限移譲により申請窓口が近くなります ●

茨城県知事の権限に属する事務のうち、次の8つの事務が大子町に移譲され、4月1日からこれらの事務を大子町が行うことになりました。

《平成22年度権限移譲事務の概要》

福祉課

- ▼放課後児童健全育成事業の届出等に関する事務
- ▼保育所の設置認可、報告書の徴収等、設置認可の取消
- ▼児童厚生施設の設置認可、報告書の徴収、設置認可の取消等
- ▼無認可施設に対する報告書の徴収及び立入調査等
- ▼認可外保育施設の事業開始の届出受理、事業停止又は施設閉鎖の命令等
- ▼戦傷病者への更生医療、補装具の支給又は修理 ほか

農林課

- ▼農地転用の許可等に関する事務
- ▼土地改良区等の役員の就退任等の届出受理及び公告



4月1日から国保事業事務担当課が変わります

現在の行政に対する需要や行政課題に適切に対応するため、役場の組織の一部を改革します。

現在、税務課で行っている国民健康保険税の賦課及び徴収事務等を、町民課が担当窓口として行います。なお、過年度分の国民健康保険税の徴収については、今までと同様に税務課で行います。

【現在】		【4月1日から】
税務課		
●国民健康保険税の賦課及び調定に関すること	→	町民課が担当窓口になる
●国民健康保険税の徴収に関すること	→	(現年度分)町民課が担当窓口になる
	→	(過年度分)従来どおり税務課

女性教育振興大会

2月18日に中央公民館講堂で、第41回大子町女性教育振興大会が開催されました。

大会は、「茨城県政報告と将来のビジョンについて」をテーマに掲げ、町内の5つの女性団体（大子町地域女性団体連絡会、大子町更生保護女性の会、大子町母子福祉連合会、大子くらしの会、大子町商工会女性部）が中心となり、約400名の方が参加して盛大に行われました。

橋本昌茨城県知事を招いて行われた講演では、茨城空港の現状や教育・人材育成、高齢化などについて話を聞き、最後に、地域女性団体連絡会の高信トシ子会長から橋本知事に花束が贈られました。



伝えたい 奥久慈の味交流会

2月23日に、「伝えたい奥久慈の味交流会」が中央公民館講堂で行われ、大子町の特産品を使用した菓子や漬物、惣菜など40種類の料理が、テーブルを彩りました。

交流会は、奥久慈の味の伝承活動や商品化、食生活の充実など目的として、昭和60年から開催されています。今年は、山田ふるさと農園に住んでいる方が十数名参加するなど多くの方が参加し、古代米赤飯や花寿司、けんちん汁などの料理をおいしそうに食べ、奥久慈の味を堪能しました。



桃の花枝の寄贈

3月2日に茨城みどり農業協同組合の柏盛幸理事長をはじめ、枝物部会の石川幸太郎部会長ほか6名が町長室を訪れ、3月3日のひな祭りにあわせて桃の花枝が寄贈されました。

現在、遊休農地の利活用を推進しており、農協の枝物部会が中心となって、桃の花やヤナギなどの生産を行っています。



交通安全の寄贈

3月10日に茨城みどり農業協同組合から、4月から小学校に入学する新一年生（113名）に黄色い交通安全帽子が贈られました。

茨城みどり農業協同組合では、児童の交通安全を願い交通安全対策の一環として、長年にわたり交通安全帽子の寄贈を実施しています。

「黄色い帽子」は良く目立ち、ドライバーに注意を促すことで、交通事故を未然に防ぐことができると思います。ドライバーの皆さんも、安全運転に心がけましょう。



卒業おめでとう

〈大子清流高校〉

茨城県立大子清流高等学校の第4回卒業式が、3月1日に厳粛に挙行され、110名（総合学科84名、森林科学科26名）の卒業生が、お世話になった先生方や友人との別れを惜しみました。



これからは、社会人として働き始める人、大学や専門学校などに進学する人など、進む道は違うと思いますが、仲間と過ごした3年間の思い出と先生方からの温かい言葉を胸に、新たな未来に向かって力強い一歩を踏み出してください。

〈高齢者大学〉

3月4日に『第42回大子町高齢者大学卒業式』が、大子町高齢者センターで行われ、現在の場所では最後となる卒業式に、卒業生41名のうち37名が出席しました。

卒業式は、学長の綿引町長から一人一人に卒業証書が手渡され、卒業生を代表して齋藤信夫さんが、「高齢者大学で学んだことを活かして、町づくりに協力していきたい。」と謝辞を行いました。卒業された皆さんの、ますますのご活躍を期待しています。



平成22年度 一日年金事務所開設のご案内

大子町では、水戸北年金事務所から遠隔にあるため、住民サービスの一環として、水戸北年金事務所の協力により「一日年金事務所」を開設しています。

厚生年金、国民年金の請求や相談等にご利用ください。

- ◆開設日時 毎月第3火曜日 午前10時(相談開始)～午後2時(受付終了)
- ◆開設場所 役場第1分室会議室 ※ 都合により変更になる場合があります。
- ◆事務内容 厚生年金(老齢・障害年金、遺族年金等) 裁定請求
厚生年金未支給年金請求、その他年金に関する申請や相談
- ◆持参するもの 相談者及び配偶者の年金手帳(証書)又は基礎年金番号通知書
認印、預金通帳、雇用保険被保険者証、委任状(代理人の場合)



※ 国民年金(第1号被保険者)裁定請求窓口は、町民課になります。

学生納付特例申請受付開始

平成22年度学生納付特例の申請を4月1日から受け付けます。平成21年度に承認された方も、あらためて申請手続きが必要となります。

- 対象となる学校 大学(大学院)、短大、高等学校、高等専門学校、専修学校
修業年限が1年以上で、都道府県等の許可を受けている各種学校
- ※ ただし、本人の前年所得が118万円以下で保険料の納付が困難な学生
- 承認期間 平成22年4月分～平成23年3月分
- 受付窓口 役場町民課国保年金室
- 持参するもの 年金手帳又は基礎年金番号通知書
平成22年度有効の学生証又は在学証明書、認印



《注意》

- (1)平成21年度に承認された学生で、平成22年度も同じ学校に在学する学生には、年金事務所からハガキで「学生納付特例申請書」が郵送されます。必要事項を記入して返送することにより、平成22年度の申請手続きができます。
- (2)学生納付特例承認期間は、障害基礎年金や老齢基礎年金を受けるための期間には算入されますが、老齢基礎年金の年金額には算入されません。満額の老齢基礎年金を受け取るため、10年以内の追納をおすすめします。

■水戸北年金事務所 ☎029(231)2282
町民課国保年金室 ☎(72)1112 内線119

国保情報

えがお

脳ドック検診費用の 7割を助成します

太子町国民健康保険に加入している方が、町の指定（契約）する医療機関等で脳ドック検診を受診したとき、検診費用の一部を助成金として受け取ることができます。

太子町国保の疾病分類からみると、脳に係る疾病の一因とされる高血圧性疾患の受診は、茨城県内で第一位を示しています。また、くも膜下出血、脳梗塞についても、それぞれ高い位置にあります。

町では、食事等の健康管理を推進するとともに、脳ドック検診を実施し、脳疾患等の疾病予防を図って被保険者の健康の保持及び増進を目指すため、検診費用の7割相当額を助成します。

◆助成金を受け取ることができる方

（助成金は、被保険者1人に対し年1回です。）

次の要件を満たす方

- 1 検診を受ける日の属する年度の初日において年齢が満40歳以上の方
- 2 前年度までの国民健康保険税を完納した世帯に属する被保険者

次に該当する方は、除きます。

- 現在、脳疾患等の治療を受けている方
- 検査医療機関等が不適当と認める疾患を有している方
- その他、町長が不適当と認めたとき

◆町の契約医療機関等

茨城県内外の医療機関等と契約の準備をすすめています。

◆助成金の申請受付及び検診の方法

町の指定（契約）医療機関等が決定してから、お知らせします。

国民健康保険に 加入されている方へ

保険証は届きましたか？

新しい被保険者証を3月25日付けで郵送しましたので、ご確認ください。

なお、今回郵送した中には、後期高齢者医療に加入している方の被保険者証は含まれていません。

重 要

平成22年3月1日から
国民健康保険被保険者証の再交付申請が変わりました

- 被保険者証の交付請求権は世帯主のみが有していますので、世帯主の方が再交付の申請に来てください。
- 世帯主以外の家族の方が再交付の申請をするときは、世帯主の「委任状」が必要です。
- どちらのときも、申請に来た方の本人確認をしますので、運転免許証等顔写真入りの身分証明書等をお持ちください。

⊗ 具体的な手続やご不明な点については、町民課国保年金室にお問い合わせください。 ⊗

⊗ 町民課 国保年金室 ☎(72)1112 内線114、117 ⊗

2010

4

カレンダー

卯月・April



日付	行 事 名	場所	時間	対 象 者	問合せ
1(木)					
2(金)	就職支援出張相談	①公	10:00~15:00	一般	①企
3(土)					
4(日)					
5(月)	「お知らせ版」4月号発行				
6(火)	定期健康相談	①保	13:30~15:00	一般	①健
7(水)	心配ごと相談	①文	13:00~15:00	一般	①協
8(木)					
9(金)	就職支援出張相談	①公	10:00~15:00		①企
10(土)					
11(日)	奥久慈トレイル50K				
12(月)					
13(火)	定期健康相談	①保	13:30~15:00	一般	①健
14(水)	心配ごと相談	①文	13:00~15:00	一般	①協
15(木)	巡回労働相談	①公	10:00~14:30	一般	①企
	就職支援出張相談	①公	10:00~15:00	一般	①企
16(金)	大子町文化福祉会館「まいん」オープニングセレモニー				
17(土)					
18(日)					
19(月)					
20(火)	一日年金事務所	①分	10:00~14:00	一般	①民
	定期健康相談	①保	13:30~15:00	一般	①健
	「広報だいご」5月号発行				
21(水)	心配ごと相談	①文	13:00~15:00	一般	①協
22(木)	弁護士無料法律相談	①文	10:00~12:00	一般	①企
23(金)	就職支援出張相談	①公	10:00~15:00	一般	①企
24(土)					
25(日)					
26(月)	こころの相談	①保	13:00~16:00	要予約	①健
27(火)	定期健康相談	①保	13:30~15:00	一般	①健
28(水)	心配ごと相談	①文	13:00~15:00	一般	①協
29(木)	昭和の日				
30(金)					

連絡先

①中央公民館(72)1148
 ②リフレッシュセンター(72)1149
 ③保健センター(72)6611
 ④高齢者センター(72)2005
 ⑤役場庁議室
 ⑥役場第1会議室
 ⑦役場第1分室会議室
 ⑧総務課(72)1114
 ⑨企画観光課(72)1138
 ⑩町民課(72)1112
 ⑪福祉課(72)1117
 ⑫健康増進課(72)6611
 ⑬地域包括支援センター(72)1175
 ⑭生涯学習課(72)1148
 ⑮消防本部(72)0119
 ⑯社会福祉協議会(72)2005
 ⑰文化福祉会館「まいん」(72)2005

救急協力当番病院

月 日	病 院
3月23日(火)~ 25日(木)	保内メディカルクリニック
26日(金)~ 4月 4日(日)	久保田病院
4月 5日(月)~ 11日(日)	慈泉堂病院
12日(月)~ 18日(日)	保内メディカルクリニック
19日(月)~ 22日(木)	慈泉堂病院
23日(金)~ 25日(日)	保内メディカルクリニック
26日(月)~ 30日(金)	久保田病院

慈泉堂病院 ☎(72)1550
 久保田病院 ☎(72)0023
 保内メディカルクリニック ☎(72)0179

4月の納付のお知らせ

★固定資産税 1期分

納期限は、**4月30日(金)**です。
 納税通知書は、4月中旬ごろ
 発送予定です。

税務課 ☎(72)1116

町の人口と世帯

平成22年
3月1日現在

★人 口 20,935人 (- 22/-374)
 男 10,294人 (- 13/-181)
 女 10,641人 (- 9/-193)
 ★世帯数 7,760戸 (- 6/-16)
 (前月比/前年比)

主な行事等を掲載しましたが、日時等が変更になる場合もあります。

フォトだいで

奥久慈湯の里大子マラソン大会



『第43回 奥久慈湯の里大子マラソン大会』が3月14日に大子広域公園で開催され、北は北海道、南は広島県から2000名を超える方がエントリーし、健脚を競いました。

今年の大会は、ハーフマラソン、5K、2Kのほかに10Kが新しく追加され、例年よりも多くの方が参加し、長沢啓さん・亜美ちゃん親子の選手宣誓で始まりました。沿道からは、奥久慈響太鼓の演奏やたくさんの声援が選手たちに送られ、一つでも良い順位を目指して力走する選手たちの背中を後押ししました。

会場の一角では、選手たちをはじめ応援に訪れた方のために、町の特産品のおやきの販売や甘酒のサービスなどが行われました。

快 壮

『広報だいで』に掲載されている写真をご希望の方は総務課（☎72-1114）にご連絡ください。